



特別講演する武藤教授

医工連携の成果報告

日大工学部 武藤教授が講演

文部科学省の私立大 援事業に採択された日
 戦略的研究基盤形成支 大工学部の「Acti



身近な情報をお知らせください

- 郡山支社 郡山市桑野二丁目三七二四
- 白河支社 白河市新白河一丁目二〇一
- 須賀川支社 須賀川市栄町一四五
- 石川支局 須賀川市南町一七七一
- 田村支局 石川町双里字本宮五五三
- 本宮支局 三春町字中町六一二
- 浪江支局 本宮市本宮字塩田八七三
- 富岡支局 南相馬市原町区三島町二一九
- 福島支局 いわき市平字一丁目一ティールン

ve agingを支援するバイオメディカル工学の研究拠点、福島県の震災復興に貢献する「医工連携研究」に関する成果報告会は四日、郡山市の日大工学部で開かれた。

はじめに武藤伸洋教授が「活躍の場を広げるセンサ・ロボット・ICTの研究開発」をテーマに特別講演した。

◆郡山市の日大工学部特任教授の小熊正人さんは「豊かな自然を眺めながらの足湯は最高」と話しています。市内湖南町赤津の再生可能エネルギー共同研究施設に完成した地中熱を活用した体験施設です。研究員らと足湯に入っは研究への情熱、議論をヒートアップさせています。

酒谷薫、春木満面教授らは脳と心の健康状態などの開発の現状について解説した。

高齢者の予防医学で
支援機器の開発紹介

日大工学部が研究報告

日大工学部（郡山市）は
4日、同市の同学部で、「ア
クティブ・エイジングを支
援するバイオメデイカル工
学の研究拠点」をテーマに
進める研究の成果報告会を
開いた。出席者が、アクテ
ィブ・エイジング（高齢者
の健康づくり）を支援する

新しい予防医学システムの
開発などを学んだ。

約100人が出席。私立

大戦略的研究基盤形成支援

事業として、予防医学や治

療機器開発などに関する成

果を発表した。

報告会では、アクティブ

・エイジングを支援する診

断治療のための新規機能分

子・測定法の開発などにつ

いて報告された。このうち、

同学部機械工学科の武藤伸

洋教授は、ロボットや情報
通信技術（ICT）の研究
開発について説明。病院に

おける患者の安全確保の観

点から、立ち上がって歩く

ことができない患者が、ベ

ッドから起きようとする

と、ナースコールを自動的



に鳴らす患者転倒転落防止
ベッドシステムの開発内容
などを説明した。写真。